



平成 14 年 10 月 25 日

各 位

会社名 アルゼ株式会社
代表者の 代表取締役社長 岡田和生
役職・氏名
(登録銘柄コード番号 6425)
問合せ先 常務取締役 大賀 恭一郎
総合企画室長
電話番号 03 - 5530 - 3055

当社子会社（アドアーズ株式会社）の平成 15 年 3 月期業績予想の修正について

当社子会社のアドアーズ株式会社の平成 14 年 5 月 15 日付「平成 14 年 3 月期決算短信」にて発表致しました同社の平成 15 年 3 月期（平成 14 年 4 月 1 日～平成 15 年 3 月 31 日）中間期・通期の業績予想につきまして、別添資料の通り修正致しましたので、お知らせ致します。

尚、当社の平成 15 年 3 月期（平成 14 年 4 月 1 日～平成 15 年 3 月 31 日）中間期・通期の業績予想の修正は連結・単独ともございません。

以 上



平成14年10月25日

各位

会社名 アドアーズ株式会社
代表者名 代表取締役社長 河野良明
(登録銘柄 コード番号4712)
問合せ先 執行役員管理部長 水嶋正紀
(TEL. 03-5530-6500)

平成15年3月期中間期及び通期の業績予想の修正について

平成14年5月15日付当社「平成14年3月期決算短信(非連結)」にて発表いたしました平成15年3月期(平成14年4月1日～平成15年3月31日)の中間期及び通期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 中間期(平成14年4月1日～平成14年9月30日)の業績修正

単位(百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
期初予想(A)	11,429	1,077	843
今回修正(B)	10,418	1,660	846
増減額(B) - (A)	1,011	583	3
増減率〔(B) - (A)〕/(A)	8.8%	54.1%	0.3%

(2) 通期(平成14年4月1日～平成15年3月31日)の業績修正

単位(百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
期初予想(A)	26,377	2,224	1,688
今回修正(B)	23,848	2,986	1,358
増減額(B) - (A)	2,529	762	330
増減率〔(B) - (A)〕/(A)	9.6%	34.3%	19.5%

2. 修正理由

(1) 中間期

今期は期初におきまして、アミューズメント施設運営事業は積極的に店舗展開を図り増収を予定し、レンタル収入及び他の売上高は景気の不透明感の動向もあり引き続き厳しく推移すると予想しておりました。上期の経営環境は、民間設備投資の低迷、ワールドカップの自主規制の影響、株価低迷による金融不安が一層高まるなど当初予想より厳しい状況で推移したことにより、売上高は当初予想に比べ8.8%下回る見込みではありますが、前期に非効率店の閉鎖効果により主力事業のアミューズメント施設運営事業の既存店ベースでは、ほぼ19カ月連続前年を上回る好調な売上となりました。一方で効率経営が寄与し、経常利益は1,660百万円(計画比54.1%増)となる見込みです。中間純利益は法人税等調整額695百万円を計上しますので、計画通りとなる見込みであります。

主力事業のアミューズメント施設運営事業は、直営チェーンの「お客様の求める以上のサービス提供」「ゲーム場における顧客満足度の徹底的な追及」の実現に向けた新ショップブランド『アドアーズ』への順次移行のリニューアル7店舗の実施、新店1店舗・増床3店舗の実施、メダルメンバーズカード会員の増加及び新GFOシステム導入等によるコスト構造の見直しにより大幅な営業増益になる見込みです。パチスロ機・周辺機器レンタル事業及び各種施設開発・設計・施工事業では主要顧客先のパチンコ業界におけるワールドカップ開催期間中の自主規制の影響に加え、主要顧客先の企業間格差が更に進んだこともあり売上高、営業利益とも当初予想を下回る見込みです。

(2) 通 期

中間期業績の実績見込み、今中間期までの各事業の状況、利益率向上の状況を考慮し、通期業績見通しの変更を行いました。

主力事業のアミューズメント施設運営事業においては、上期開設予定の新店のずれ込みに伴う出店費用は通期として減少する見込みです。また、新しく独自に企画・開発した顧客動向を的確把握するPOS機能付メダル貸出両替機の設置、メダルメンバーズカード全店導入による会員数10万人への増加、好評の全店イベント開催など積極的な施策を行うことにより、十分な営業利益を得られる見込みであります。パチスロ機・周辺機器レンタル事業及び各種施設開発・設計・施工事業においては、主要顧客先の企業間格差もあり引き続き厳しく推移すると見込んでおります。

以上の結果、売上高23,848百万円(計画比9.6%)、経常利益2,986百万円(計画比34.3%増)となり、当期純利益は税効果会計による法人税等調整額1,082百万円が計上され、1,358百万円(計画比19.5%)となる見込みです。

以 上